

普段食べているお米はどうやってできているの？

町内3小学校による 田植え体験！



5月に入り、利根町内の田んぼに用水が引かれ始め、気候も穏やかになってきたこの季節。本格的な「田植え」シーズンが到来しました。

今年は、町内すべての小学校の児童（文小3・4年生／布川小3年生／文間小5年生）が参加した田植えの体験学習が行われました。

この体験学習を通して、普段食べているお米が、どのような工程を経て食卓まで並んでいるか、また実際に体験することによって、働くことの苦勞と収穫の喜びを実感し、自然の恵みに感謝する心と生命を慈しむやさしい心を育成することを目的に実施されました。

当日は、田んぼを提供していただいた地元農家の方々やJA竜ヶ崎市利根営農経済センターの石橋センター長をはじめ、保護者の方々のご協力のもと、普段することは出来ない貴重な体験をすることができました。



田植えの前に苗の植え方を指導していただいたJA竜ヶ崎市営農経済センターの石橋センター長。児童たちも真剣に話を聞いています！



一人一人が苗を持ち、あぜ道に並び準備OK！
今から田んぼの中へ！



知ってる？お米の豆知識

普段食卓に並んでいるであろうお米には、いろいろな栄養が含まれています！人が生きていく上で必要なエネルギー源である炭水化物をはじめ、たんぱく質やビタミン、鉄分やカルシウム、食物繊維などさまざまな栄養が含まれているのです。

お米一粒一粒に、そしてお米を作っている農家の方々に感謝しながらお米をいただきましょう！



田んぼに足を入れた時、「うわー、変な感じー！」や「冷たいー！」といった声が上がりました。初めて田植え体験をする児童もいたと思いますが、時間が経つにつれ慣れていき「楽しい！」「もっと苗ちょうだい！」など田植えを楽しめるほどの余裕が出来た児童もいました。

田植え終了後、感想を聞くと「楽しかった！」「また、やってみたい！」と笑顔で答えてくれました。



田植えの様子



1～7.田んぼの感触に戸惑いながらも、みんな上手に植えることができました 8～9.横一列になり、一斉に田植えをしました 10～11.田植えも無事終了。みんなの手足は泥だらけ！一生懸命やった証だね！

